

- 問1 明治時代、ロシアなどの北方からの脅威に備える警備と、広大な土地の農業開発を同時に行う目的で北海道に置かれた軍事組織の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 1. 屯田兵 | 2. 警視庁 | 3. 防人 | 4. 足軽 |
|--------|--------|-------|-------|
-
- 問2 大政奉還から明治政府の確立へと向かう流れにおいて、鳥羽・伏見の戦いが発生した歴史的な背景と、その後の影響について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。 | 2. この戦いで勝利した旧幕府側が一時的に政権を奪還したが、その後のイギリスの介入により新政府軍が逆転勝利を収めた。 | 3. 開国を求める外国艦隊の圧力に対抗するために薩摩藩と長州藩が結成した軍が、京都に残留していた幕府組織を攻撃した戦いである。 | 4. 不平士族が徴兵制や秩禄処分に反対して起こした武力蜂起であり、この戦いの敗北により武士の時代が完全に終焉した。 |
|---|--|---|---|
-
- 問3 明治政府が地租改正を行い、税率を「収穫量」ではなく「地価」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした目的として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税收を確実に得て、国家財政を安定させるため。 | 2. 米の流通量を政府が完全に管理することで、都市部での米不足や価格の暴騰を未然に防ぐため。 | 3. 江戸時代から続く複雑な税制を簡略化することで、地方自治体の徴税コストを大幅に削減するため。 | 4. 重い税負担に苦しんでいた小作農に土地を与え、農村全体の所得を向上させて国内の景気を刺激するため。 |
|---|--|--|---|
-
- 問4 1873年に明治政府が発表した「国民皆兵」を目指す政策において、満20歳になった男子に身分に関わらず課せられた義務は何ですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 納税の義務 | 2. 勤労の義務 | 3. 兵役の義務 | 4. 教育の義務 |
|----------|----------|----------|----------|
-
- 問5 明治政府が実施した地方統治の仕組みの変更にについて、佐倉藩が1871年に廃止されて印旛県へと編入された事例に関連して、当時の改革の名称とその順序として適切なものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 1869年に版籍奉還が行われて藩主が知藩事に任命され、その後の1871年に廃藩置県が実施されて中央政府から知事が派遣されるようになった。 | 2. 1871年に士族の不满による西南戦争が勃発したことを受けて、軍事拠点であった藩を即座に廃止し、中央集権を強めるために地租改正を行った。 | 3. 1873年に徴兵令が施行されて全国の前藩主が軍司令官に任命され、1877年の西南戦争の終結を受けて県制度が導入された。 | 4. 1869年に地租改正が行われて土地の私的所有権が認められ、その直後に版籍奉還が実施されたことで藩の行政組織が完全に解体された。 |
|---|--|--|--|
-
- 問6 明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。 | 2. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。 | 3. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。 | 4. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。 |
|--|------------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
-
- 問7 1867年の大政奉還から1881年の国会開設の約束に至るまでの明治時代初期において、政府が産業の近代化を推進するために、フランスの技術を導入して群馬県に設立した施設を次から選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| 1. 富岡製糸場 | 2. 長崎造船所 | 3. 八幡製鉄所 | 4. 南満州鉄道株式会社 |
|----------|----------|----------|--------------|
-
- 問8 幕末から明治初年にかけての動乱に関連して、ヨーロッパの築城術を参考にした星形の城郭（西洋式城郭）が築かれ、戊辰戦争の最終段階において旧幕府軍の拠点となった場所はどこか、次の中から選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大阪城 | 2. 五稜郭 | 3. 江戸城 | 4. 安土城 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問9 1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まった戊辰戦争は、翌1869年に北海道南端の渡島半島に位置する港町で、旧幕府軍が新政府軍に降伏したことにより終結しました。この最後の一戦を何と呼びますか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 第一次長州征伐 | 2. 箱館戦争 | 3. 下関戦争 | 4. 西南戦争 |
|------------|---------|---------|---------|
-
- 問10 明治政府が強力な中央集権国家を樹立するために1871年に行った改革について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価の3%を現金で納めさせるようにした。 | 2. 全国の前藩を廃止して県置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。 | 3. 旧藩主が土地と人民を天皇に返還し、引き続きその土地の知藩事として統治を続けるようにした。 | 4. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、身分に関わらず国民皆兵の軍隊を組織した。 |
|--|--|---|--|
-
- 問11 明治初期の様子を描いた劇において、徴兵検査に合格した次男が家を離れることになり、さらに満6歳になった末っ子が小学校に通い始めることで、貴重な労働力を失うことを嘆く農民一家の場面があります。このような国民の負担増を伴う改革を明治政府が推し進めた、最大の目的は何ですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|
| 1. 藩を廃止して県を置くことで、中央政府による統治を徹底するため | 2. 江戸時代の身分制度を廃止して、すべての国民を平等にするため | 3. 土地の所有権を明確にし、地価の3%を現金で徴収して税收を安定させるため | 4. 軍事力を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------|
-
- 問12 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 富国強兵 | 2. 殖産興業 | 3. 文明開化 | 4. 自由民権運動 |
|---------|---------|---------|-----------|
-
- 問13 1873年に始まった地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方から変更された点として、正しい説明はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 士族が領主として、農民から直接米を徴収するようになった。 | 2. 土地の耕作者が、収穫量を基準にして米で納めるようになった。 | 3. 村全体が連帯責任を負い、収穫量に応じた現金を納めるようになった。 | 4. 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。 |
|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策を警戒し、北方の警備を強化する必要がありました。同時に、北海道の豊かな資源を開発するために大規模な開拓も急務であったため、兵士と農民の役割を兼ね備えた屯田兵という制度を設けました。防人は古代の九州沿岸の警備組織であるため、時代背景が異なります。
問2	答え 1 新政府による徳川慶喜への厳しい処分案に旧幕府側が反発したことで始まり、この戦いを機に国内各地で戊辰戦争が展開された。	大政奉還の後、新政府内では徳川氏を完全に排除しようとする勢力が強まり、「小御所会議」において慶喜の官職剥奪と領地返上（辞官納地）が決定されました。これに憤った旧幕府軍が京都へ進軍して衝突したのが鳥羽・伏見の戦いです。この勝利により新政府軍は「官軍（天皇の軍）」としての地位を確立し、江戸の無血開城を経て、函館の五稜郭の戦いに至る戊辰戦争へと続いていきます。
問3	答え 1 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税収を確実に得て、国家財政を安定させるため。	米による物納では、天候による豊凶や市場での米価の変動によって、政府の歳入が大きく増減してしまい、近代国家としての計画的な予算編成が困難でした。地租改正によって「地価に応じた現金納」に転換したことで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家財政の基盤を築くことが可能になりました。
問4	答え 3 兵役の義務	明治政府は、近代的な軍隊を組織するために「国民皆兵」をスローガンとして掲げ、1873年に徴兵令を公布しました。これにより、それまで軍事を独占していた士族に代わり、満20歳に達したすべての男子が兵役に服することが義務付けられました。
問5	答え 1 1869年に版籍奉還が行われて藩主が知藩事に任命され、その後の1871年に廃藩置県が実施されて中央政府から知事が派遣されるようになった。	明治維新における地方行政の変遷を辿ると、まず1869年に版籍奉還が行われ、藩主は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還しました。この段階では旧藩主が「知藩事」として引き続き各地の統治を任されていました。しかし、中央集権を徹底するため、1871年に廃藩置県が断行されました。これにより藩という仕組みそのものが廃止され、佐倉藩などの地方組織は中央政府が任命した府知事・県知事が統治する「府」や「県」へと再編されました。
問6	答え 4 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。
問7	答え 1 富岡製糸場	明治政府は輸出産業の柱であった生糸の品質向上と増産を目指し、1872年に官営模範工場として富岡製糸場を設立しました。フランスから技術者を招き、最新の機械を用いた製糸技術を全国に広める役割を果たしました。なお、八幡製鉄所は日清戦争後の賠償金をもとに設立された重工業の拠点であり、時代背景が異なります。
問8	答え 2 五稜郭	北海道の函館に築かれた五稜郭は、大砲による攻撃を防ぎやすくするために死角をなくした西洋式の星形城郭です。1868年から始まった戊辰戦争の最終局面において、榎本武揚ら率いる旧幕府軍がここに立てこもり、新政府軍と最後の戦い（箱館戦争）を繰り広げました。1869年の開城をもって、一連の戊辰戦争は終結しました。
問9	答え 2 箱館戦争	戊辰戦争は、京都の鳥羽・伏見の戦いから始まり、江戸城の無血開城、東北での転戦を経て、最終的に北海道の函館（当時は箱館）へと戦いの舞台が移りました。この函館での戦いを箱館戦争と呼び、これにより明治新政府による国内統一が完成しました。
問10	答え 2 全国の藩を廃止して県を置き、政府から派遣された府知事や県令が行政を担うようにした。	明治政府は、日本を近代的な中央集権国家にするため、1871年に廃藩置県を実施しました。これによって江戸時代から続いた各藩の独自統治を終わらせ、政府が直接任命した府知事（三府）や県令を地方へ派遣することで、全国を直接支配する仕組みを整えました。選択肢にある版籍奉還は1869年に行われましたが、これは旧藩主がそのまま知藩事に任命されたため、中央集権化としては不十分なものでした。
問11	答え 4 軍力を強め、経済を発展させて欧米に並ぶ国力をつけるため	当時の日本は、欧米列強による植民地化の脅威にさらされていました。これを防ぐには、徴兵令によって近代的な軍隊を組織し、学制によって近代産業を支える国民を育成する必要がありました。この「富国強兵」を目指した政策は、一方で農村にとっては働き手を奪われるなどの重い負担となり、各地で反対一揆が起こる原因にもなりました。
問12	答え 3 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広まりました。
問13	答え 4 土地の所有者が、地価を基準にして現金で納めるようになった。	江戸時代の年貢は「収穫された米」を納めるものを中心でしたが、地租改正では「地価」を課税基準とし、納税方法も「現金」へと改められました。これにより、政府は農作物の作柄や価格の変動による影響を受けずに、予算を立てることが可能になりました。一方で、負担が重かったことから、後に各地で反対一揆が起こり、税率は2.5パーセントへと引き下げられました。